新京日日新聞
夕刊
四月三十日
發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 永越內之介

# 天長佳節の盛儀 滯りなく終る

## 新綠瑞氣に輝く大内山

【東京國通】大内山の新綠一際さわやかに輝く二十九日、天皇陛下には寶算滿三十四歲に達せられめでたく天長の佳節を迎へさせられた、此の日宮中にては賢所に天長節祭を行はせられ、豐明殿に君民和樂の御盛宴を催させられた、

○

此の朝賢所皇靈殿神殿は掌典部員奉仕して嚴そかに裝飾し午前九時四十分、宮內勅任官總代河井帝室會計審查局長官同委任官總代岡本參事官着床三條掌典以下奉仕して莊重なる神樂歌の中に御開扉神饌幣物を供し三條掌典長祝詞を奏し奉れば　天皇陛下御代拜の侍從恭々しく拜禮、次いで諸員拜して祭典を終へさせられた

○

かくて大内山は瑞氣あふるゝ中に、正午近くより、秩父宮殿下を始め、皇族各殿下、御召の光榮に浴した、岡田首相以下各大臣、一木樞相　牧野內府、其の他勅任待遇以上約七百の文武顯官、伯子男爵及各國大公使等は、大禮服正裝に綺羅を飾つて自動車を連ね前後して參內した、午後零時半　天皇陛下には御正裝に大勳位菊花章頸飾を御佩用、湯淺宮相、鈴木侍從長、本庄武官長以下側近を從へさせられ松平式部長官の御前行にて、鳳凰間に出御、秩父宮殿下を始め各皇族方に御對面、御祝詞を受けさせられ更に各國使臣、岡田首相以下前官禮遇以上の重臣の拜賀を受けさせられて豐明殿に御參進、諸員最敬禮中に正面中央の玉座に着かせ給ひ玉音嚴そかに勅語を賜へば岡田首相は、群臣を代表し、又白國大使バツソンピエール氏は外交團を代表して、恭々しく奉答文を捧讀、やがて御內庭樂奏せられる「春庭花」「白濱」の妙なる舞樂の中に御閉宴、陛下にも玉盃をかたむけさせられたが、御盛宴は一時過ぎ御終了、天機麗はしく入御、諸員一同は光榮に感激しつゝ宮城を退下した、尙此の日大奧に於ける御內宴は皇后陛下御喪中の爲め催させられなかつた

## 皇帝陛下御親電

皇帝陛下には廿九日　日本天皇陛下の天長の佳節に當り聖壽の無疆と國祚の盛昌を慶祝し給ふ旨の御親電あらせらる

# 勇魂永へに眠る― 忠靈塔に捧ぐる感謝

## 滿洲國皇帝侍從御差遣遊さる

# けふ第一回招魂大祭

新國家建設の尊き犧牲となつた幾多忠勇烈士の英靈に捧ぐ心からの感謝の日は來た、第一回春季招魂大祭は二十七日午前十時五分から春とはいへ風寒き新京原頭忠靈塔廣場において畏くも滿洲國皇帝陛下より御差遣の侍從武官を迎へ南關東軍司令官以下日滿軍官民列席の下に嚴肅に執り行はれた

この日朝來の風は祭典開始の頃に至りいよ〳〵その度を增し微雨を交へ各戶に揭げられた日の丸旗はへんぽんとはためき勇魂を祭るに相應しいものがある、定刻に先立ち

**祭場**　は滿洲國皇帝陛下を始め奉り南軍司令官、津田中將、鄭總理以下各部大臣ほか日滿各機關より贈られた供物が塔正面に堆高く飾られ、塔前高く揭げられた五色の吹流しは颯爽とはためいてゐる午前九時五十分忠靈塔正面に向つて左側に南軍司令官を始め津田海軍部司令官、西尾關東軍參謀長、岩佐憲兵隊司令官、谷大使館參事官、河本滿鐵理事、川村新京總領事、滿洲國側より鄭總理以下沈宮內府大臣、張侍從武官長、各部大臣、各軍管區長、右側に祭典委員長佐野警備司令官以下各祭典委員、合祀者遺族、正面に日滿官民並に在京各部隊が埋めつくし沿道は各學校生徒兒童が堵列

**永劫**　に眠る英靈に捧ぐる感謝は正に絕頂に達してゐる、定刻に遲れること五分、午前十時五分滿洲における最初の公式招魂大祭は雨空を衝いて轟く爆竹と共に開始された、式典は先づ神宮の合祀者奉安式によつて始められ獻饌、井上神官の祝詞奏上、續いて關東軍司令官特命全權大使南次郎大將の祭文捧讀、次いで滿洲國代表鄭總理の祭文捧讀の後、閑院參謀總長宮殿下を始め陸海軍大臣、外務、拓務兩大臣外十數通の

**祭電**　を報告、それより全員起立のうちに南軍司令官、滿洲國皇帝陛下御差遣の于侍從武官、遺族代表、傷痍軍人代表、西尾陸軍、津田海軍、谷大使館、岩佐關東局、河本滿鐵、鄭滿洲國、四戶在鄉軍人、川村官民各代表、佐野委員長の順序で玉串奉奠を行ひ撤饌を終つて同十一時五分、こゝに歷史的招魂の大儀は意義深く終了した

## 祭文

維時昭和十年四月三十日關東軍司令官特命全權大使南次郎謹みて殉國諸士の英靈に告ぐ顧れは帝國か明治維新の大業を成就したる後肇國の皇謨に則り極東平和の聖業に破邪顯正の師を起すこと數次常に寡を以て衆に當り裝備の劣惡、氣候風土の變異を克服して醜虜を掃蕩し國威を中外に宣揚せり

此の間諸士は或は戰場に在りて硝煙彈雨の中に進み强敵を破り堅疊を拔き或は銃後に在りて傷病者の收容看護、交通通信の保持、軍需の補給に任し身命を捧けて國難に赴き遂に護國の鬼となる今や極東の平和工作は諸士の殉難したる礎石に依りて着々として堅實なる步武を進め世界列强は漸く公明正大なる皇謨の眞意を解して日本に對する疑惑の念を改めんとするの氣運を釀生し中華民國亦自己の非を覺らんとするの徵あり蘇國亦北鐵を讓りて事實の上に滿洲國の獨立を認識せり又近く滿洲國皇帝陛下御訪日の盛儀ありて日滿の國交益々敦厚極東平和の基礎漸く堅きを覺ゆ

是れ蓋し御稜威の然らしむる所なりと雖も又戰死殉職諸士の忠勇壯烈に據らすんはあらす幽明相隔てゝ今此の榮光と歡喜とを頒つこと能はす感慨何そ堪えん然れ共曩に讀宣布の礎石となりし諸士の英名は極東平和の確立と共に永く竹帛に垂れて後世齊しく敬仰する所とならむ

是れ蓋し最も死所を得たるものと謂ふへく諸士亦以て瞑すへきなり玆に衷情を披瀝して在天の英靈に酬ふ矣

昭和十年四月三十日

關東軍司令官特命全權大使　南次郎

招魂祭場と南大使の祭文朗讀

# 藝妓の手踊や余興とりぐ

## 正午から一齊に奉納の催し

この日忠靈塔を中心に國都の街々は各戶國旗はためき午前八時からどん〳〵煙火がうち上げられた、招魂祭式場では北安路角の正門から入ると遙か忠靈塔を仰ぐ區域で正面には榊を始め各方面から獻げられた御供物が所狹きまでにかざられてある、余興場を這入ると舞台、活動寫眞場、角力土俵、塔に近く大弓場がありまた左側には手洗場、舞台、擊劍場などが設けられてある祭典を終つて十一時まで滿洲國軍樂隊の演奏をトツプに正午から銃劍術、劍術、角力、大弓兒童舞踊など一齊に開始され午後一時三十分から第一料理店組合、新京檢番、城內料理店組合總出の藝妓手踊が華かに繰り擴げられ、午後二時から滿洲芝居、引續き同三時から滿洲奇術がありこの間池の坊結家社中の生花、奉納射會など盛大に催された、なほ藝妓手踊の出演は左の通りで終る後花自動車に分乘し附屬地商埠地、城內の目拔き場所を練り步き一層氣勢を添へた

△常磐津、娘獅子引拔朝日櫻（八千代連中）
△長唄、元祿花見踊（東明連中）
△常磐津、栗餠（開花連中）
△新曲、四季の壽（彌生連中）
△新舞踊、國境の町（曙連中）
△淸元、四君子（千鳥連中）
△長唄、玉川（梅月連中）
△長唄、菖蒲浴衣（翠連中）
△長唄、春の踊（新京檢番）
△長唄、老松（城內料理店組合連中）
△長唄、淺妻舟（城內料理店組合連中）

# 新京に於る陸軍觀兵式

第卅四回の御誕辰を迎へさせ給ふた天長の佳節に、當地陸軍觀兵式は午前九時より中央通新京神社に擧行せられたが在新京皇軍部隊步兵、輜重兵自動車隊、飛行隊の精銳が諸兵指揮官佐野少將指揮の下に先づ南司令官の閱兵あり、次で勇壯活潑なる分列式に入り地上には步兵部隊の步武堂々軍靴の音高らかに續いて自動車隊の整然たる驀進、空中には三機、五機編隊で爆音勇ましく參列の日滿要人一般參觀者に非常な感銘を與へ、同九時五十分無事終了した尙觀兵式には滿洲國張侍從武官長はじめ滿京中の各軍管區司令官も特に參列した

# 天皇陛下 雨中大觀兵式をみそなはせらる

【東京廿九日發國通】廿九日代々木原頭に於る觀兵式が分列行進に移つて間もなく、くもつた空からは遂に雨が降り出し漸次强くなつて來たが、天皇陛下には玉体のしとゞに濡れさせ給ふに外套をも召させられず、雨中行進の各部隊に、一々擧手の禮を賜ひ、御豫定通り式を終らせられ、宮城に還幸あらせられたが、畏れ多き御英姿を拜して陪觀の民草はもとより將兵一同深く感激して士氣益々振つた

## 皇帝陛下 祝賀宴に御臨席

觀兵式終了後正午より軍司令官々邸に於て祝賀宴が開催されたが畏くも滿洲國皇帝陛下臨御あり天長の佳節を御同慶あらせられた

## 南司令官主催の園遊會賑ふ

祝園遊會は二十九日午後三時司令官々邸庭園で定刻に開會來賓日滿各界の男女數百名參會、南司令官の挨拶があり直ちに園宴園內の樹木悉く櫻の造花をつけ觀櫻の趣好おもしろく十數の模擬店は選りぬき美妓赤前垂で接待に努め余興のベビーゴルフ、釣堀、射的等に日頃は嚴めしい顧官も他愛なく打ち興じ一同歡を盡くし四時半盛會裡に散會した

# 記念公會堂で官民祝賀會

總領事、地方事務所長主催、日滿官民合同天長節祝賀會は二十九日午前十一時記念公會堂大講堂で定刻開會、先づ國歌を合唱後川村總領事祝辭を述べ、終つて開宴、宴酣なる頃、武田地方事務所長の發聲で、天皇陛下萬歲を三唱し數十分で散會したが參會者日滿各界の人々六百余名盛會であつた

## 新京神社に於て天長節祭典

新京神社に於ける天長節祭典は二十九日午前八時の定刻神前に參集、祓式開扉、獻饌祝詞奏上神官武田氏子總代長以下各代表玉串を奉奠、饌を撤し閉扉退下したが官民多數參列盛儀であつた

# 英米佛伊各國の艦艇起工內容

【ワシントン廿七日發國通】米國下院は新艦艇廿四隻の建造費を含む總額四億五千萬弗の一九三五・六年度海軍豫算案を可決したが上院も恐らく無修正で通過させるものと觀測されるから玆に米國軍は一九三四年及び五年度に起工せる四十四隻を加へ二年間に六十八隻を起工する大擴張計畫を實施する事になつた譯だ、右計畫の四月七日現在に於る狀況を示せば左の如くである

△一九三四・五年度起工の分航空母艦二隻、驅逐艦廿九隻、乙級巡洋艦七隻、潛水艦六隻、計四十四隻

△一九三五・六年度起工の分乙級巡洋艦二隻、航空母艦一隻、驅逐艦十五隻、潛水艦六隻、計廿四隻

右の外に甲級巡洋艦一隻を一九三八年一月頃竣工の豫定を以て起工の筈であるから結局廿五隻となるものと思はれる尙同期中に於る英、佛、伊三國の艦艇起工內容を示せば左の如くである

△英國　航空母艦一隻、乙級巡洋艦四隻、驅逐艦九隻、潛水艦三隻、計十七隻を昭和九年度に起工し、十年度に於て乙級巡洋艦二隻、驅逐艦十隻、潛水艦三隻、計十五隻を起工する豫定だから二年間に合計卅二隻の起工を見る事になつてゐる

△フランス　昭和九年度に主力艦一隻、驅逐艦二隻、エスコーター六隻、計九隻、十年度に驅逐艦一隻、潛水艦二隻、計三隻建造の豫定であるから二ケ年に十二隻を起工することゝなる

△イタリー　主力艦二隻

以上の數字が示すところに依て主要海軍國が如何に海軍力を擴張せんとしつゝあるかが察知される

# 車輛工場設置說に

## 市民活氣づく

【圖們國通】車輛製造工場が圖們に新設さるべしとは四萬市民が命がけの待望だが、最近に至り鐵路總局圖們辦事處が爲め新京に於て六月中大量の煉瓦の購入々札が行はれるとの報道が市民間に何處からともなく傳はり、此の建築こそ圖們として車輛工場が建設されるものとして建設事務所寧北進出以來火の消えたやうな圖們市民に俄かに活氣を吹込むことになつた更に車輛工場十五萬坪の工場敷地の地均し工事の入札が五月中に行はれるとのニュースも土木關係方面より電波の如く傳はり三年計畫で此の大工場が出現するものと消息通の說明も伴奏をつとめ之に北鮮鐵道管理局（現在淸津）の圖們移轉說も漸次濃厚に評判され此の處圖們はホツと安堵の色が見へる

## 招魂祭休刊

本日は新京忠靈塔招魂祭につき謹んで一日附朝刊を休刊致しますから御諒承下さい

# 日滿不可分關係を 皇帝陛下 力强く御明示

## けふ簡任官以上をお召の席上

約一ケ月近く御訪日の旅程を恙なく了へさせ給ひ玉体いよ〳〵御健かに二十七日新京に還御あらせられた皇帝陛下には些かの御疲勞の御氣色も拜せられず翌二十八日

**午餐**　に南軍司令官以下少數の日滿要人を宮中に召させ給ひ日本皇室の御歡待、官民の熱誠なる歡迎ぶりについて種々うち解けたる御物語りあり陪食の光榮に浴した人々はいたく感激したが昨二十九日天長節には親しく軍司令官々邸に臨幸遊ばされ日滿兩國の國交いよいよ堅きを思はしめた、本三十日には特に大御心の存するところを御明示遊ばされる意味にて在京簡任官以上の者を午前十一時宮中に召させられ建國以來日本帝國の絕大なる協力に對する深厚なる謝意と日滿不可分の關係を御力强く宣はせられ今後日滿兩帝國は東洋文化に基調を置き世界の平和確立に精進すべき旨を諭させ給ふた、鄭國務總理は謹んで之に

**奉答**　し一同深く感激して退下した、なほ二日午前十一時三十分更に在京簡任官以上、各省長、各軍管區司令官を宮中に召させ給ひ國民に向ふべき道を示させ給ひ詔書宣諭式を擧げさせらるゝやに洩れ承はる

## 人事往來

▲宮田慶義氏（東京官吏）二十八日午後來京國都ホテルへ
▲石野昌平氏（陶商）同
▲鈴木忠之丞氏（朝鮮銀行郡山支店支配人）同
▲壇川浩吉氏（同郡山支店長）同
▲馬田孚（朝鮮銀行員）同
▲李鏡國氏（同）同
▲林鎭變氏（同）同
▲三谷喜重郎氏（大連稅關吏）同
▲落合四郎氏（帽子商）二十九日午前來京
▲壇見和太郎氏（軍政部囑託）同午後來京
▲野田健治氏（會社員）同
▲皆川豐治氏（錦州省總務廳長）同
▲後藤熊一氏（一岡會道場主）同
▲貴田五兵衛氏（大阪土地株式會社員）同
▲岡崎忠三郎氏（同取締役）同
▲高橋由太郎氏（金融業）同
▲徐稚九氏（實業家）三十日午前來京
▲高松治平氏（大阪雜貨商）二十九日午後來京名古屋ホテル投宿
▲淸水武吉氏（大阪、伊藤萬商店員）同
▲山崎德大郎氏（東京、木材商）同
▲桑名大佐（新京警備隊長）二十九日午後發延吉へ
▲上妻少佐（同隊）同
△荻根大佐（憲兵隊司令部）同內地から
▲依田四郎氏（蒙政部次長）三十日午前發內地へ
▲河本大作氏（滿鐵理事）同歸京
▲山內靜夫氏（電々會社總裁）二十九日午後來京
▲竹下豐次氏（關東州廳長官）三十日午前來京
▲高野勇氏（大連會社員）二十九日午後來京ヤマトホテル投宿
▲松原純一氏（朝鮮銀行副總裁）同
▲加藤武男氏（東京會社員）同
▲山脇圭吉氏（東京官吏）同
▲桑原已代治氏（淸潔舍社員）同

## 團体

▲宮崎縣延岡中學生六十名三十日午前十時十分發奉天へ
▲宮崎縣都城商業學生三十八名三十日午前六時四十分來京同日午後一時五十分發南行
▲陸軍士官學校生三百六十八名三日午後六時三十五分來京南嶺兵營投宿三日午後六時發南行

院長醫學博士 吉田秀雄
內科小兒科X光線科
吉田醫院
室町東一條通角（公學堂前）入院隨時
電話五九二一番 ゴクワイイ

◎高級……新車
電話 六二三五番 四八七九番
メイヤ街 現代タクシー

TAVANNES'S シーマ タバン TRUSTY
中谷時計店

海路日本へ
日滿連絡船五月大連出帆表

| 船名 | 出帆 前十時 |
| --- | --- |
| ばいかる丸 | 五月一日 |
| うすりい丸 | 三日 |
| 亞米利加丸 | 四日 |
| 吉林丸 | 五日 |
| 扶桑丸 | 七日 |
| しあとる丸 | 八日 |
| うらる丸 | 九日 |
| はるびん丸 | 十日 |
| 熱河丸 | 十一日 |
| ばいかる丸 | 十二日 |
| たこま丸 | 十三日 |
| うすりい丸 | 十四日 |
| 亞米利加丸 | 十五日 |
| 吉林丸 | 十六日 |
| 扶桑丸 | 十八日 |
| しあとる丸 | 十九日 |
| うらる丸 | 二十日 |
| はるびん丸 | 廿一日 |
| 熱河丸 | 廿二日 |
| ばいかる丸 | 廿三日 |
| たこま丸 | 廿四日 |
| うすりい丸 | 廿五日 |
| 亞米利加丸 | 廿六日 |
| 吉林丸 | 廿七日 |
| 扶桑丸 | 廿九日 |
| しあとる丸 | 三十日 |
| うらる丸 | 卅一日 |

△門司着三日目、神戸着四日目●印船に限り四日目別府寄港、五日目神戸着
△滿鐵主要驛、ジアパン・ツーリスト・ビューロー各案內所並に弊社支店に於て便利な日本各地行船車連絡切符を發賣して居ります
大阪商船
大連市山縣通 電話（本局）一一五一
奉天浪速通 電話四〇八九
新京中央通 電話二二一六

松本醫院
內科、小兒科
性病、痔疾科
アヘン、モヒ ヘロイン中毒
（入院隨意）
（隨時往診應需）
●代診生並に看護婦入用●
日本橋通郵便局前 電話三七五六番

割烹 藪虎
味!! やぶなればこそ…已に定評あり…
▼料理一式 ▼うどん そば ▼丼もの一切
●出前迅速●
日本橋通り 電三四四五番

山崎齒科
前公園西通中央
電話五八〇三番
診療時間 午前九時―午後六時
日曜祭日午前中診休

看板 圖案
三笠町一丁目・八輪組合技術部
新彩社
電話二六〇五

# 全滿アパート荒し 惡運盡き捕はる
## 警部さんの現金を失敬して 舊惡まで暴れる

五月二十五日頃新發屯實業ビル居住關東局藤本警部が居室に於て現金十圓盜難の屆出に接した新京總領事館署では谷口刑事ら現場に赴き調査したところ同ビル出稼人本籍山東省平度縣高崗山生れ李清澤こと李壽亭（二五）が怪しとにらみ本署に連行取調べると藤本警部の現金十圓を竊取したほか八島通り淸水組出張所岡田歡造方より時價六十圓のオーヴァー一着、同堀田芳太郎方より時價二十二圓の洋服一着永樂町近江アパート內橋本喜久彌方より時價五十八圓の毛布二枚、國際運輸支店石野菊次郎方より時價六十圓の洋服一着朝日通太平アパート內馬橋一男方より洋服外十一點時價七十九圓を竊取したこと判明したが彼は稀代のアパート荒しで大連小崗子署より指名犯人として全滿に手配中のもので竊盜前科六犯のしたゝかものである尙取調べ一段落と共に身柄は大連に押送する筈である

## トタンを滿載 盜み去る男捕はる

二十九日午前八時頃新京領事館署谷口刑事が市內警戒中朝日通りを城內に向つてトタン板新品百枚を積載した荷馬車あるを發見擧動不審の點があるので署に連行取調べると城內東五馬路永遠棧止宿河北省生れ王永祿四（四七）同孫鳳禮（四四）同汪永鐵（三四）の三名で鐵道北より該トタンを竊取城內に運搬中のものと判明した尙同トタンには新京驛中村宛大連丸十洋行發出の荷札がついてゐた心當りのものは領事館署に申出られたいと

# 春競馬幕開く
## 馬場のコンディション惡く 第一日の人氣淋し

新京賽馬倶樂部主催の春季競馬大會は三十日午前十時三十分第一競馬九頭出走で花々しく開始されたが天候不良のため觀衆の出足をくだかれ入場者三百名內外で大會劈頭を飾るにあまりにも淋しかつた、この日馬場のコンディション惡るく第一、二レースで小穴をあけ人氣を沸した、正午までに三レースを終へた

廿九日天長節祝賀宴に 大使官邸お成りの皇帝陛下

## 西公園は人の山

はるの日曜、祭日は杏花、若葉に戲れ遊ぶ人で西公園は埋り、本社主催の野球、ラクビーの試合はかつてない觀衆であつた、惜しいことには二十九日天長節の午後雨さえ降したので西公園の入園者は少かつたがそれでもきのふの入園券の發賣數は三千三百四枚の六十六圓八錢、二十八日の日曜日が四千八百五十二枚、の九十七圓四錢

## 靴泥棒捕はる

本籍山東省蓬萊縣生れ新京鐵道北濟鄕屯居住無職、王魁九（四八）は三十日午前七時頃市內祝町四丁目附近より日本橋通二十四番地方面に向つて黑短靴を所持して徘徊中を新京署金刑事張特別巡捕が發見本署に連行取調べると所持の短靴は市內吉野町一丁目某日本人方に侵入竊取したことを自白したが他に靴六足木炭二俵其他相當附屬地を荒した形跡あり余罪嚴重取調べ中

## 吉野町の露店 開業遲れる

來月一日から始める豫定であつた吉野町通りの夜店は同町の道路補修工事が遲れたゝめ四五日は遲れる模樣、なほ夜店商人の申込みは既に五十七名に達し滿員である

## 盜難

市內彌生町一丁目十二番地正金銀行宿舍篠原榮方中央銀行文書科員植田一夫氏（二六）は二十八日午後三時四十分ごろ新京驛構內又は同日午後四時同驛發列車內に朝鮮銀行十圓紙幣十六枚その他書類在中の茶色革製三つ折財布を紛失驛詰警官に屆出たが發見されなかつた

## 本社主催 ラヂオドラマ放送 豫期以上の成果
### 近く第二回發表の準備

本社學藝部主催、新京ラヂオドラマ研究會員による第一回ラヂオドラマの放送は近東綺十郎原作「晩春騷夜曲」三景を掲げて二十九日午前十一時十分より天長節奉祝放送のトップを切つて行はれたが、豫期以上の成果を收め得て好評を博した、近く第二回發表の準備中である

# 臺灣震災に伸ぶ ダンサーの義捐
## 義捐舞踏純收入九十一圓を ソツクリ本社へ託す

ダンスホール新京會館では二十九日天長節當日、台灣震災義捐舞踏會を催した、ホールの純收入金七十一圓にダンサー樂士一同の醵金二十圓を加へ合計九十一圓を支配人笠原氏が三十日本社に持參、義捐手續きを依賴されたので、本社は他の義金と併せ適宜の方法を以て罹災地へ送ることを引受けた

## カフエー組合 新役員決定

新京カフエー組合總會は二十八日午後六時より市內料亭八千代館にて開催出席者會員四十餘名にて役員改選の結果 △組合長藤井甚作（精養軒）△副組合長小吉唯一（ゴンドラ）△會計平島金次郎（ライオン）△幹事長高田秀利（サロン富士）◇相談役渡邊浩志（箱根）の諸氏それぞれ當選 藤井氏の挨拶あつて閉會、懇親宴に移り來賓代表沼田辯護士の祝辭等あり一同歡談盛況裡に十時頃散會した

## 早大校友會 母校杉山敎授 歡迎會開催

早稻田大學校友會新京支部では今回母校調查課長兼高等學院杉山謙治先生歐米視察の途次來京せられたるを機とし歡迎會を三十日午後六時より公記飯店に於て開催する事に決定多數校友諸氏の出席を切望する由會費三圓

## 古川鐵道出張 所長着任

新京鐵道出張所長古川達四郎氏は二十九日午前十一時三十二分着列車で正式着任した

# あす結核豫防デー 金語樓も出演
## かつてない力の入れ方

滿洲結核豫防デーは五月一日を期して全滿各地呼應して擧行するが新京では五月一日、二日兩日に亘り徹底的にこれが宣傳をなすこととなつた、當日は午前中宣傳自動車隊が市中を遊行、過日新京高等女學校生徒から募集した標語を刷込んだビラ十萬枚を撒布各戶につき衞生的指導をなし夜は記念公會堂で金語樓が得意の落語で豫防宣傳をなす他各活動常設館でも豫防映畫を上映することになつてゐる、なほ五月一日午後八時五分から八時三十分まで新京放送局から關東局小坂衞生課長が「結核豫防について」ラヂオ放送をなす等新京では曾てない力の入れやうである

## 郭家店のお花見 あす第一回

ペプチャップ公園の杏花が八分通り梨花が五分通りに開いて郭家店の山は全山花見客で足のふみ場もない程だ、新京驛、ビューロー主催、本社後援の觀花團第一班はいよいよあす午前十時十分發列車で郭家店へ各自辨當もつて乘りこむことになつた、希望者はあす午前八時まで驛に申込み午前十時までに驛前に集合のこと、會費は大人一圓四十錢、子供七十錢、なほ第二班は來る五日に出發

# 新京、東京間一日連絡 愈よあすから實施
## 新京發は午前四時

日滿航空界に劃期的一線を描く新京東京間郵便物一日連絡新京大阪間旅客一日行程といふ素晴らしいダイヤはいよいよ五月一日より實施される事となつたこの記念すべき第一航は一日午前四時新京飛行場出發のスーパーユニバーサル四百八十馬力六人乘がスタートするが第一日の旅客は既に滿員といふ幸先よさを見せてゐる、尙新京大阪間は旅客運賃百三十五圓で午後五時四十分大阪着、郵便物は郵便機に連絡午後八時半には東京着即日配達されるが東京よりは午前三時郵便機出發五時半大阪で旅客機に積みかへ午後二時廿分には新京飛行場着夕刻五時半には配達されるわけである因に新京東京間旅客運賃は百六十二圓である

## 寧安東方で 匪團を擊破 匪首以下を斃す

【吉林國通】〇〇〇〇隊第〇〇隊友澤、小島兩大尉の率ゆる〇〇〇〇名は四月二十六日午後一時花連岡（寧安東方約二十キロ）附近に於て約二百の匪賊を攻擊し折柄の降雪を利用して敵に肉薄し激戰四時間に亘り多大の損害を與へて潰走せしめたが、此の戰鬪に於て敵の遺棄屍體二〇（內匪首二名）負傷者十數名、拳銃、小銃、彈藥等多數鹵獲したが、我方步兵二等兵增田榮太郎は名譽の戰死を遂げた外輕傷二名である

## 湯島聖堂の 孔子祭 盛大に擧行

【東京國通】今春落成した本鄕湯島聖堂では卅日午前九時から總裁伏見宮殿下の台臨を仰ぎ第廿九回孔子祭が催された、備道大會開催中ではあり、殊に竣工第一回の祭典なので參列者多數に上り、滯京中の孔子の後裔孔昭潤、顏回の子孫顏振鴻等中華民國滿洲國儒家代表一行も出席、岡田首相、松田文相、湯淺宮相、後藤內相等の祝辭あり盛大を極めた

## 岩間德也氏 金州へ

文敎部督學官岩間德也氏はこの度退職三十日正午後金州會南山麓に向ふに先立ち三十日挨拶のため來社した

## 南嶺自動車隊 五日慰靈祭

南嶺の關東軍自動車隊では來る五日同隊陣歿將兵慰靈祭ならびに第三回創立記念祭を左の式次により擧行する

次第書
一、慰靈祭 自午前九時三十分 至同十時〇分
二、劍術 自午前十時〇分 至午前十一時
三、祝宴 自午前十一時十分 至午後零時卅分
四、餘興 自午後一時三十分 至午後四時三十分

# 遭難の淸水機 大孤山沖に漂流
## 淸水、原篠兩氏の死体も發見

【新義州國通】昨日車輛發見說の眞僞を疑つて居た新義州搜查本部では廿八日午前五時より濱名場長搭乘の美濃機以下四機出動搜查の結果漸く午前十一時に至り大孤山大鹿島西半里の海中に大破して墜落せる機体を發見機体はバラバラになりシート等は漂流せるを認めたので、阿部運行課長等は直ちに現場に急行これがため淸水、原篠兩氏の殉職は一點の疑ふ余地なきに至つた

【安東國通】日本空輸會社の遭難機搜查隊は廿八日午後一時大鹿島沖機墜落現場附近で墜落機及び淸水、原篠の兩氏の死體を發見した、機體は激浪の爲めバラバラに解體してゐたが兩氏は操縱席內に殉職して居り直ちに引揚げられた

### 遺骨歸還

【新義州國通】淸水、原篠の死体搜查は二十九日終日續けられたが午後六時十分機体發見、附近二十米四方を堀り續けた結果漸く生々しき頭骸骨三片を發見したのみで屍体は墜落に際し發動機其他のためにバラバラになり浪に押流されたものと認められるに至つた、斯くて三個の頭骸骨の破片は遺族に護られ新義州飛行場に歸還したので、飛行場では直ちに祭壇を設け午後九時より告別式を行つた、本葬は日を改めて京城で社葬を以て營まれる筈である

## 近く發令の 國土防衛機關內容

【東京國通】國土防衛機關として東京、大阪、北九州に常置される事になつた防衛司令部については近く軍令が發せられる事となつたので、これが計畫に就き準備が進められてゐるが、大體次の如く內定した

一、東京 現在の東京警備司令部を東京防衛司令部に變更し警備司令官を防衛司令官に任命する
一、大阪 大阪警備司令部は第四師團司令部に設置し第四師團長は大阪防衛司令官を兼任し別に防衛司令部幕僚を置く
一、北九州 北九州防衛司令部は福岡市に設置し第十二師團長は北九州防衛司令官を兼任し別に防衛司令部幕僚を置く

外科一般 花柳病科 肛門病科 專門
ドクトル 廣澤德民
入院 夜診應需
日本橋通八〇 電話五四三六

## 大田ソ大使 歸任

【モスクワ廿八日發國通】駐ソ大使太田爲吉氏は廿八日午後五時夫人同伴歸任した、驛頭には在留邦人、ブリツト米國大使、カズロフスキー極東部長等多數出迎へた

## 密輸監視を セパードで 種犬十一頭到着

【營口國通】滿洲國稅關では各地稅關の密輸入監視の爲先般來日本に稅關監視犬セパードの優秀犬を注文中の處二十六日營口入港の宮浦丸にて種犬十一頭到着直に滿洲國稅關遼陽監視犬訓練所轉送訓練上將來一千頭まで增殖し各地稅關に配付密輸入の監視に當らしめる豫定である

仙人掌

ゆふべキャピタルは假裝舞踏會で▲あの子、この子が明治時代的女給やら、大學生やら和蘭娘、カチユーシヤ的滿洲娘、國防婦人會などなどに化けて仲々に嬉しかつたです▲中でも壓卷の定評があつたのは千葉一子君の二グロ、「ワンダー、バー」に於けるアル、ジョンソンも顏負けでした▲夜も更けて午前一時半みんなで「螢の光」を唄つて別れたです

## 鄕軍第一分會あす總會

在鄕軍人會新京聯合分會第一分會は五月一日正午から記念公會堂で定例總會を開催、終了後映畫上映、酒宴も開かれる、會員はふるつて參會されたいと

## 鹿野家不幸

滿鐵新京醫院齒科醫長鹿野八千代氏長女和枝さんは三十日午前四時十分死去、五月一日午後四時祝町太子堂で告別式が擧行される

## けふの銀相場

| | |
|---|---|
| 國幣對金票 | 一〇九円五〇錢 |
| 鈔票對金票 | 一三五円〇〇錢 |
| 國幣對鈔票 | 八二円三五錢 |
| 現大洋對鈔票 | 一三七円五〇錢 |

## 天氣と氣溫

明日の天氣 西寄の風晴一時曇
日の出 午前四時三十二分
日の入 午後六時四十一分
月の出 午前三時九分
月の入 午後四時五十六分
けふの氣溫 最高六度 最低零下一度七

料亭 すし一
曙町二丁目 電話五八七九番

古典的味覺 更科きそば
曙町二丁目 電話三一八一五番

問題のすわらじ劇團來る
五月二日より三日間 ▼午後六時開演▲ 於記念公會堂
主催 在鄕軍人會新京第二分會
後援 新京日日新聞社
團体申込は特に割引致します
第二分會事務所 電話三七二八番

長女和枝儀入院加療中の處藥石効なく卅日午前四時十分死去仕候間此段謹告仕候
追而告別式は五月一日午後四時祝町太子堂に於て執行可仕候
昭和十年四月三十日
父 鹿野八千代
親戚總代 鹿野紅葉
友人總代 塚本良禎
齒科醫師會總代 早川武夫

解雇廣告
和田定吉（大正二年生）
右の者今般都合に依り本日限り解雇致し候間爾今弊店とは一際關係無之候に付此段廣告候也
東一條通 食料雜貨 森川商店 電話三〇七五番

出版界の驚異！
國務院民政部編纂
「熱河省縣旗事情」愈出づ
內容 熱河省全縣十四蒙旗
裝釘 總クロース金文字入一千三百余頁 地圖寫眞附
定價國幣 八圓五角整送料五角
但シ特價期間六月末日迄ハ國幣七圓整
右御希望ノ向ハ左記ニ申込マレ度
申込書 國務院民政部調查科
新京老松町 大同印書館 電話五六五四番 振替大連一八四二番

文化住宅並貸家建築御案內
一、土地ハ貸付ニテ新京驛ヨリ六丁以內交通ノ便良住宅地ニ好適地
一、建坪八、六、四、三、二、疊ノ四間ペーチカ浴場付ニテ建築費約壹千七百圓位ノ見込
一、貸家建築ノ希望ノ方ハ御相談ニ應ズ
一、土地ニ制限有リ御希望ノ方ハ至急御申込アレ
御報有リ次第當方ヨリ御伺申上マス
御照會ハ電話五六〇九番
ダイヤ街 西山萬年筆店

# 本社主催 第二回新京野球大會

## 强豪鐵道對地方 あす愈よ相見ゆ

### 兩軍秘策を練り豫測を許さず

本社主催西山運道具店後援の第二回新京野球大會は第一回戰中銀對舊廳舍により大會の火蓋は切つて落されたが初日以來好試合を見せ非常な盛況で觀衆を熱狂せしめた、明一日午後四時から强豪鐵道對精鋭地方の對戰が展開されることの兩軍選手は全新京軍の名選手が二分されてゐるので面白い試合を繰り展げるであらう

## 後半の猛撃に 中銀遂に敗る

### 對舊廳舍 一〇A—五

前日八對八の白熱戰を演じた中銀對舊廳舍の再試合は廿九日午後一時二十五分球審梅本壘審杉谷橋本三氏審判の下に開始された

中銀劈頭岩瀨の中堅左を拔く安打に幸先き良く一點を廢得、次いで三回岩瀨四球に出で平田の中飛は高橋中堅手目測を誤り二壘打となし岩瀨生還二木三遊間を拔き平田長驅生還二木二盜し水田の中飛失に走者二、三壘大河原の左飛に二木生還三點を加へ計四點を先取前半優勢を持したるも後半舊廳舍の猛襲に會ひ瓦解し九回一點を加へたるも十A對五遂に舊廳舍の陣門に降つた

舊廳舍は前半高橋の好投にはゞまれ四點の負擔を如何に追擊するや興味を以てみられたが四回二死なれど走者二三壘の好機を擱り名手高橋を打者に迎へ滿場カタヅを飲む高橋期待にそむかずニボール後の直球を大きく左中銀に三壘打して二者生還五對二と差を縮め六回に至つて二木の安打と二四球敵失二と相俟ち四點を獲得遂に六對五と形勢を逆轉せしめた此の間中銀は二木を投手に代へ舊廳舍の追擊をさける策に出てたるも及ばず八回には深瀨赤木山田と三安打を集中三四球と共に四點を擧げ大勢を決す

中銀は八回舊廳舍の追擊に及ばざるを知り勝敗を度外視し紅顏の少年水野をプレートに送り可憐なる投球は幸ひに得點を許さず喰止めたるは感ずるに足る

兩軍の戰績を比較するに中銀は水田投手の崩れたるに及んで破れ舊廳舍は深瀨投手の地力に於てまさり投手力の差が勝敗を決したると云ふべし攻擊力に於ては高橋赤木伏見古强者の揃ひたる舊廳舍の地力は機會每に威力を發揮新人揃ひの中銀を壓へたるは當然の結果と云ふべく中銀は來年に期待を持つべし

兩軍の安打中銀七、舊廳舍九過失中銀二舊五犧牲し四球舊六中四同一の戰績なれど安打を集中大量得點の機を二回に渡り摑み得舊廳舍に軍扇の上りしは蓋し當然と云ふべし

| 得點 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 舊廳(先) | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 4 | 0 | 4 | A | 10A |
| 中銀 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 5 |

| 失 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 殘 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |

(中銀)

| | | 打 | 得 | 安 | 犧 | 盜 | 三 | 四 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 岩瀨 | 4 | 2 | 2 | 0 | 0 | 2 | 1 |
| 2 | 平田 | 3 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 3·3 | 二木 | 5 | 1 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| 1 12 | 水田 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 31 | 大河平 | 5 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 7 | 新田 | 5 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5 | 今西 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| 4 | 坂田 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| PH | 鈴木 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 1 | 水野 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 8 | 木林 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 |

(舊廳)

| | | 打 | 得 | 安 | 犧 | 盜 | 三 | 四 | 殘 | 失 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 8 | 高橋 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 1 |
| 4 | 上條 | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 7 | 香西 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 |
| 1 | 深瀨 | 4 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| 3 | 赤木 | 4 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 |
| 6 | 伏見 | 5 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 3 |
| 5 | 山田 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| 2 | 樋口 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | 0 |
| 9 | 土屋 | 4 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |

## 十九對七の大差で OBに凱歌

### 對商業學校戰

OB對商業の試合は中銀對舊廳舍の試合に次いで午後四時十五分よりOB先攻、球審岩瀨、壘審橋本の下に開始されたが、試合經過左の通り

△一回 OB源川一飛、浦島三邪失に出で、古海三壘上をぬく安打に續くも、森川中飛、萬澤三邪飛▲商業岸本四球尾島二邪、大川遊邪、岸本の封殺を企てたが野手ハンブルして兩者生く、渡邊三右安打に一點、續く村上の四球に二死滿壘、鹽原の三右テキサス、左翼手の失策に意外の效果を發してランナー一掃、隅左前安打、佐藤二飛、前田一飛(OB零—商業五)

△二回 OB三者凡退▲商業岸本(OB萬澤を捕手に森川を投手に、福家を三壘に夫々變更)三飛、尾島、大川凡退(兩軍零)

△三回 OB朴四球(代走森川)に出で、直ちに二盜捕手の二壘惡投に三進、源川の二ゴロに森川生還、浦島四球古海の遊飛は浦島を併殺▲商業渡邊一飛、村上三振、鹽原投ゴロ(OB一—商業零)

△四回 OB森川遊飛、萬澤死球、寺川の投ゴロを二壘に惡投して萬澤三進、小島四球に滿壘、福家、朴共に四球押出しの二點、源川中飛、るも、小島生還、浦島三飛▲商業三者凡退(OB三—商業零)

△五回 OB古海の三ゴロ一壘高投に進壘、森川三遊線上をぬく安打に得點、萬澤四球に出で寺川、小島の中前安打に四點を獲得、小島二盜、福家死球(商業渡邊を投手に鹽原を三壘に變更)朴遊飛、源川一邪飛、浦島、古海の四球に押出一點、森川の時捕手三壘に惡投福家生還、森川三振に漸く收拾をつく▲商業岸本投ゴロ、尾島二飛、大川四球に出しも渡邊三振(OB六—商業零)

△六回 OB萬澤四球(源川代走)寺川投ゴロを一壘に惡投して走者進壘、小島の時源川本盜成らず、小島四球直ちに二盜、福家の左前安打に寺川生還、朴四球に出で、捕失に小島福家生還、朴一二間にはさまるも二失に三進、源川二ゴロに死すも朴生還、浦島投ゴロ▲商業村上三上をぬくテキサス、鹽原左飛後村上二盜に刺され、隅左飛(OB四—商業零)

△七回 OB古海中頭上越しの二壘打、森川三遊間をぬく安打、萬澤遊ゴロに古海三本間に挾まれ、森川二壘より本盜を企てゝ成らず、寺川二飛▲商業佐藤三ゴロ、前田投ゴロ、岸本二上越し安打、尾島の右前安打に岸本三進、大川四球に出で二死滿壘渡邊の中前安打に二者生還、村上二ゴロ(OB零商業二)

△八回 OB小島左前安打に三進、福家の二ゴロに小島生還、木付三振、源川投飛▲商業鹽原三遊間安打に出しも隅三振佐藤三ゴロ、前田三振(OB一—商業零)

△九回 OB浦島二ゴロ失に生き、古海左飛、森川の時投手の暴投に浦島二進、森川四球、萬澤中前安打(源川代走)に一死滿壘、投手の暴投に浦島生還、寺川四球、小島の一三間安打に森川生還、源川、寺川生還木付三振▲商業三者凡退(OB四—商業零)閉戰五時五十三分、二打、古海

| 得點 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| OB(先) | 0 | 0 | 1 | 3 | 6 | 4 | 0 | 1 | 4 | 19 |
| 商業 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 7 |

(OB)

| | 打 | 得 | 安 | 犧 | 盜 | 三 | 四死 | 殘 | 失 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 源川 | 4 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 浦島 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 | 0 |
| 古海 | 5 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| 森川 | 5 | 2 | 2 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 萬澤 | 3 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 0 |
| 寺川 | 5 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 小島 | 4 | 4 | 3 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| 福家 | 4 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 1 | 0 |
| 朴 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 |
| 木付 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 |

(商業)

| | | 打 | 得 | 安 | 犧 | 盜 | 三 | 四 | 殘 | 失 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6 | 岸本 | 4 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 8 | 尾島 | 5 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 5·1 | 大川 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 2 |
| 1·5 | 渡邊 | 4 | 1 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 3 |
| 3 | 村上 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 3 |
| 1·2 | 鹽原 | 4 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| 7 | 隅 | 4 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| 9 | 佐藤 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 4 | 前田 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |

## 新廳舍 一勝つ

### 對電業戰 7—5

待望の優勝候補電業對新廳舍の一戰は廿八日午後三時五十五分球審淺香壘審古賀川田三氏審判の下に新廳舍の先攻で開始された

| 兩軍得點 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 新廳舍 | 1 | 0 | 0 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| 電業 | 0 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 |

之の日電業は社梅本を新廳舍は新人佐々木を夫々マウンドに送り前半早くも壯烈なる打擊戰を演じ、後半に至つて雙方得點し得ず前半の得點を持ち越したるまゝ勝敗を決してしまつた、兩軍の打擊に付き大要を見んに

**新廳舍** は第一回安樂二ストライク二ボール後の直線的四球に出壘、竹田の二ゴロに二進三番佐々木は一ストライク一ボール後の球を左中間に二壘打して安樂を還し幸先き一點を先取したれども二三回敵に五點の得點を許し五對一と引き離され四回に至つてばん回の機運に到達した一死後木村中前安打に出で鈴木とのヒットエンドランは三ゴロなりしも野平二壘に投ぜしため間に合はず、兩者生き西村の左翼線に沿ふ二壘打に二者生還二點を返し更に二死滿壘の好機をつかみ打者竹田の遊ゴロは野平二壘に投ぜしも二壘手失に幸福なる一點を増し差を五對四と縮め五回四番の水原以下の好打順を迎へ四本の安打を集中、梅本投手を完全に壓へ形勢を逆轉せしめた即ち水原投直安打木村は三壘ベースよりの安打を放ち無死走者一、二壘の好機を迎へ鈴木は二ボール後の高木の直球を左中間に二壘打し二者を還し西村は三遊內安打に續き橋本の投ゴロ後佐藤四球で滿壘次打者安樂よく選球し四球にておしだしの一點を加へ三點を增し七對五と反對に二點リードをつとめたるも制球力なく梅本は投手を吉井に代へ防戰これ努む再度投手となり爾後多少變化あるチェンジオブペースを試みたる爲め得點をはゞまれ最終回訪れた唯一のチャンスも打者の不調に空しく逸した然し二回以後投手板に立つた水原主將の健闘で後半完全に電業を封じ得點を許さず其の儘おし切つてしまつた

**電業** は二回佐々木投手の一本調子に乘じ二本の長打と一本の單打を集中敵失と相俟つて四點を獲得した、即ち片岡は遊ゴロ高投に生き小松二前に絶好のバンドをなせば一壘手一壘に底球一壘手之を後方に失し走者二三壘に據る小野二球目の直球を打てば球は中堅左頭上に延びて二壘打となり二者生還孫は二ボール後の眞中高目に入る球を左翼に二壘打し小野を還し行德も左前安打に續き依然として好機を續け佐賀投ゴロ杉谷三ゴロ野選に滿壘中川の二ゴロは野平本壘に投せしむも間に合はず孫生還梅本二飛片岡遊飛に止むも堂々と四點を還し三回には孫の中堅右安打に一點を加へ五對一と優勢を持したるも後半水原投手の好投に乘ずる隙なく九回三壘手の通失に多少の破亂を思はせしも及ばず遂に勝星を失ふに至つた

新廳舍は全九回を通じて走者を出すこと七回中訪れしチャンスは五回三回をものにし計七點を修め電業は走者を出すこと七回なりしも訪れしチャンスは四回中二回をものにし二回を失ふ殊に四回一死走者三壘に據り片岡以下の好打順を迎へ得點出來ざりしは攻擊方面より見る一敗因と云ふべく兩軍の安打を比較するに新廳舍五、電業八中長打新廳舍は一〇、電業二は攻擊力に於ても新廳舍の優りしをうかがはせる、守備力は過失新廳舍七の過失中佐藤三壘手は四を算し多きに失すべく、電業は過失は一なるも敵の攻擊を防ぐべき主力たる投手力に於て過失五は新廳舍にはるかに劣りしが最大の敗因と云ふべし電業梅本打手も後半に至つて用ひたるが如きスピードの變化を前半に多少でも入れたならば敵に七點を許す事なく味方の攻擊力と相待ち或は勝を制したるやも知れず本試合は大會中白眉の好試合たりしは何人も異論なかるべく之の日初日に勝る觀衆なりしは如何に最近新京人の戶外熱のお盛なるかを想はしめた(源川記)

三壘打佐藤 二壘打佐々木、西村(2)鈴木

(新廳舍)

| | | 打 | 得 | 安 | 犧 | 盜 | 四 | 三 | 過 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 7 | 安樂 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 |
| 2 | 竹田 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 13 | 佐々木 | 5 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 31 | 水原 | 5 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 8 | 木村 | 5 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6 | 鈴木 | 4 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 |
| 4 | 西村 | 5 | 1 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 9 | 橋本 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 |
| 5 | 佐藤 | 4 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 4 |

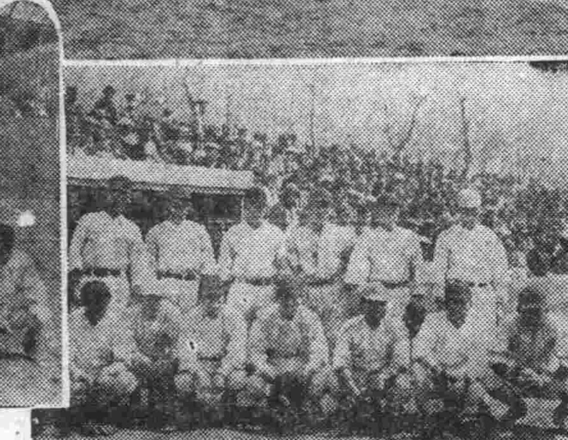
二壘打小、孫

(電業)

| | | 打 | 得 | 安 | 犧 | 盜 | 四 | 三 | 失 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 656 | 杉谷 | 4 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 7 | 中川 | 5 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 161 | 梅本 | 5 | 打 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | 片岡 | 5 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 9 | 小松 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 53 | 小野 | 4 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 8 | 孫 | 4 | 1 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 14 | 行德 | 4 | 2 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 4 | 佐賀 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 13 | 吉井 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | 山本 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

## 明日の試合

本社主催 第二回新京野球大會
鐵道對地方部 (審判赤木、高橋、二木)
後援 西山運動具店



寫眞 (上)日滿對抗ラグビー戰 と (下)野球大會

## 西公園球場に見る 肉塊の躍動振り

### 六對三滿軍に凱歌

本社主催 第一回日滿對抗ラグビー

本社主催第一回日滿選拔ラグビー戰は既報の如く天長の佳節を選んで二十九日西公園競技場に於て擧行せられた、二日に亘る降雪にも不拘グラウンドコンデイションは良好、薄日さす絕好のラグビー日和唯風のみやゝ强く戰前既に選手の苦闘を想はしむるものがあつた先づ本社々長代理松本編輯局長の挨拶並に始球によつて午後一時半試合開始(レフリー吉本氏)近藤氏

前半滿洲國側の追擊物凄く日軍苦戰殆ど空しく三對〇後半兩軍大接戰を交へ三對三結局六對三で日軍惜敗した兩軍メンバー左の如し

日本側 FW 八島 高田 田中 高桒 久永 村上 稗田 鳥潟 HB 崔 淺野

滿洲國側 上山 胃木 山田 松見 川井 渡澤 大瀧 石渡 顯原 TB 池田 大神 有川 牟田 FB 濱野 井手 糸鹿 原 小栗 山本

### 經過

試合は東野球場側を陣取つた日軍のキツクオフに始められた、時に定刻三時半に遲るゝこと五分

直後滿軍フツトアツプにてキツクをなしたる日軍はタツチを選び滿軍右一〇碼に攻め入りしも滿軍TBパスに日軍一〇碼を襲ひたる時滿軍の反則あり、日軍のキツクは風の爲タツチせず再び日軍陣にもみあふ內日軍右一〇碼ラインアウトよりブラインドを衝いて二五碼に挽回し更に日軍フリーキツクを獲、村上ショートパントするを滿軍取りて左にTBパス糸井大きく蹴つて稍蹈り返したるも日軍FWのドリブルに再び滿陣二五ヤードに攻め入り更にゴール前に迫りしも滿軍TBの好蹴にセンターラインに戾され其後センターライン邊に兩軍ドリブルに一進一退(開始後一〇分)

滿軍ルーズスクラムの球を屢々獲漸次日軍を壓迫する內滿軍バツクロー日軍タイトスクラムに球を獲しをひきかけ大きく日軍線を拔き、日軍フルバツクの好守に之を拒み、滿軍FBパスに再び日軍ゴールをおびやかしたるも大きく蹴り過ぎてドロツプアウト(開始後一五分)

其後TBの活躍に滿軍三度日軍ゴール前を襲ふもTWのオフサイド多く戰鋒まず日軍左二〇碼に於ける日軍のオフサイドに滿軍鹿毛のプレースキツクにゴールを狙ひしも成らずドロツプアウト、この球を滿軍FWの好バツクアツプに日軍二五碼に攻め入りしも滿軍ハツキングに日軍センターラインまで盛り返し更にルーズに球を得たHB淺野の好キツクにチヤンスを思はせしも日軍TB躊躇再びセンターラインに盛り返され、滿軍球を屢々獲るも日軍バツクの好マークに之を拒む、日軍タイトスクラムの球を得るもTBのキツク惡るく且滿軍FWの必死の突込みにFBを拔きたる球を顯原好走拾ひ上げて日軍左二〇碼にトライを擧ぐ鹿毛のゴールキツク成らず(開始後二〇分)

日軍キツクオフ後崔の好ダツシユに滿軍ゴール前に迫りしも滿軍好走して之をはゞみ、日軍二五碼に盛り返し、糸井滿軍左五碼に盛り返し、ブラインドよりFB濱野好タツクルに防ぐ、滿軍FWのするどき突込に日軍二五碼に入りしもピツクアツプに盛り返され前半を終る

(後半)

滿軍キツクオフ後直ちに日軍ゴール前に迫り屢々スクラムの球を獲て日軍をおびやかせしも日軍こぼれ球を左にTBパスFWの好フオローとキツクにセンターラインに盛り返す

滿軍ペナルテイキツクを獲、鹿毛の長蹴に日軍ゴール前に迫り、ドリブル又はパスに日軍陣に戰ふ內、日軍あせりて左二五碼にてオフサイドを犯し滿軍鹿毛のキツク、ゴールして點數を加ふ(後半開始後一〇分)

日軍奮起しキツクオフの球をよくチヤーヂして崔の好キツクに滿軍二五碼に攻め入りしもハンドリング惡く自陣二五碼に返されしも滿軍の反則にゴール前五碼に迫りその球を得たる淺野のスクラムパスに拔けフオローせる牟田にパスして左中間にトライ、ゴール不成功(後半開始後一五分)

其後兩軍必死にもみあひ滿軍顯原のキツクに日陣に迫りしも日軍FW挽回の氣合鋭どくドリブル或はパスに滿陣左に攻め入り屢々チヤンスを得しも滿軍の好防にはゞまれゴール寸前のスクラムより得し球を日軍FWあせりてピツクアツプし滿軍のタツチキツクにてノーサイド

### 寸評

試合前より兩軍の編成を見て二つの興味がつながれた滿軍は政府及中銀の比較的ベテランを選び、日軍は社員電業の若きメンバーを中心として居る點と滿軍FWが七人制を採り日軍が八人制FWを採つた點である

第一の觀點より滿軍は巧みに日軍は鋭く試合を運ぶものと豫想されたが事實は少くとも前半に於て豫想に反し滿軍殊にそのFWの氣合は日軍を壓した、タイトに於ては日軍は比較的多く球を得たが、ルーズに於ける滿軍の鋭き突込みに對してバツクなく姿勢なく滿軍の利する所となつた、從つて日軍TBは專ら防禦に奔命しこの點に於てはかなり活躍したが攻擊に當りハンドリング惡く屢々好機を逸してゐた

後半滿軍のペナルチーゴールを契機として日軍FWは俄然奮起し敵を壓迫してその遮二無二の頑張りが牟田君のトライをして戰果を得たが更にチヤンスに惠れながら決め手をもたずに遂にタイムアツプの笛を聞くに至つた、FWが七人制であり八人制であつたことに對しては共にその特長を發揮し得ずに終つた試合は非常にスピーデイに而も公正に運ばれしかも澁滯することなく選手の態度亦甚だ立派で而も懸命であつたことはこの試合を享く價値付け模範試合として立派に其の存在を示した

## 六大學リーグ

### 早大雪辱 對法政二回戰 9A—6

續いて行はれた早大對法政第二回戰は法政先攻で開始し法政先づ第一回に三點を先取すれば早大は一回裏に高須が中堅頭上を拔く本壘打を打つて一點を報ふ、第二回に入るや法政の土倉も本壘打を打ち互に打擊戰を演じ、七回に早大四點を入れ大勢を決し結局九對六で早大雪辱成る、スコア左の通り

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 法政 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 早大 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 4 | 0 | A |

### 立敎大勝 對帝大戰 15A—2

【東京國通】帝大對立敎第二回戰は十五A對二で立敎二勝した、スコア左の通り

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 帝大 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 立敎 | 5 | 0 | 0 | 1 | 4 | 0 | 3 | 2 | A |

### 早慶ボート 慶應に凱歌

【東京國通】早慶ボートレースは慶應九分廿七秒、四艇身の差で勝つ

### オリムピック スキー代表 正式決定

【東京國通】全日本スキー聯盟は廿八日國際オリムピック大會參加代表に關し再審議の結果正式代表として明年二月ガルミツシエ、パルテン、キルヘンに開催される大會に派遣する事となつた

△團長 稻田昌植

△正選手 飛躍競技 安達五郎、同龍田峻次、同宮島巖、伊黑正次 長距離 山田伸三、同山田銀三、同岡山忠雄、但野寛 複合競技 關口勇、關戶力

尙選手の中故障のあつた場合もこれを補充せぬ方針である

## 商況欄 (四月卅日前場)

### 海外經濟電報 (四月三十日)

倫敦銀塊 三四片一六分一
同遠限 三四片一六分三
紐育銀塊 七五仙四分三
孟買銀塊 七八留比八分三
スチール株 三三弗〇〇
アナコンダ株 一四弗〇〇
米英爲替 四弗八仙八分一
米日爲替 二八弗五八仙
米支爲替 四一弗六二仙
英日爲替 一志二片三二分二
英支爲替 一志八片四分三
英米爲替 四弗八三仙八分三
印日爲替 七八留比八分五

▲米棉
現物 一二仙二〇
五月限 一一仙七六
七月限 一一仙八二
十月限 一一仙三二
十二月限 一一仙四二
一月限 一一仙四六
三月限 一一仙五三

▲印棉
ブローチ 二四一留比
オームラ 二一〇留比
ベンゴール 一三六留比

▲市俄古小麥
五月限 九九仙八分五
七月限 九九仙八分五
九月限 一弗〇仙八分三

▲カルカツタ麻袋
靑筋 二六留比八分七
鐵筋 二四留比四分一

### 金銀市況

●上海標金
昨引 本寄 步
七六七、〇〇 七五九、八〇 七五一、〇〇 七五八、五〇 七五九、〇〇 七六二、五〇
七六〇、五〇 七六一、〇〇 七五二、五〇

●大連金鈔票
現物 寄 一三四、七五 引 一三三、一〇 出來高 一一〇万
五月十三日限 寄 一三四、七五 四、八〇 四、七〇 四、六〇 四、五〇 四、五五 五、〇〇 引 出來高 一五三万

●奉天國幣鈔票
現物 一三三、一〇
▲五月十三日限 休會 一三三、一〇
寄 引 出來高 出來不申

●錢鈔
國幣對金票 一〇九円五〇錢
鈔票對金票 一三五円〇〇錢
國幣對鈔票 八一円二五錢
現大洋對鈔票 一三七円五〇錢

運のよくなる 觀相と易斷

●成功か失敗か!! 一生幸福に暮すも一生不幸にして泣いて暮すも的確なる師の一度の判斷にあり

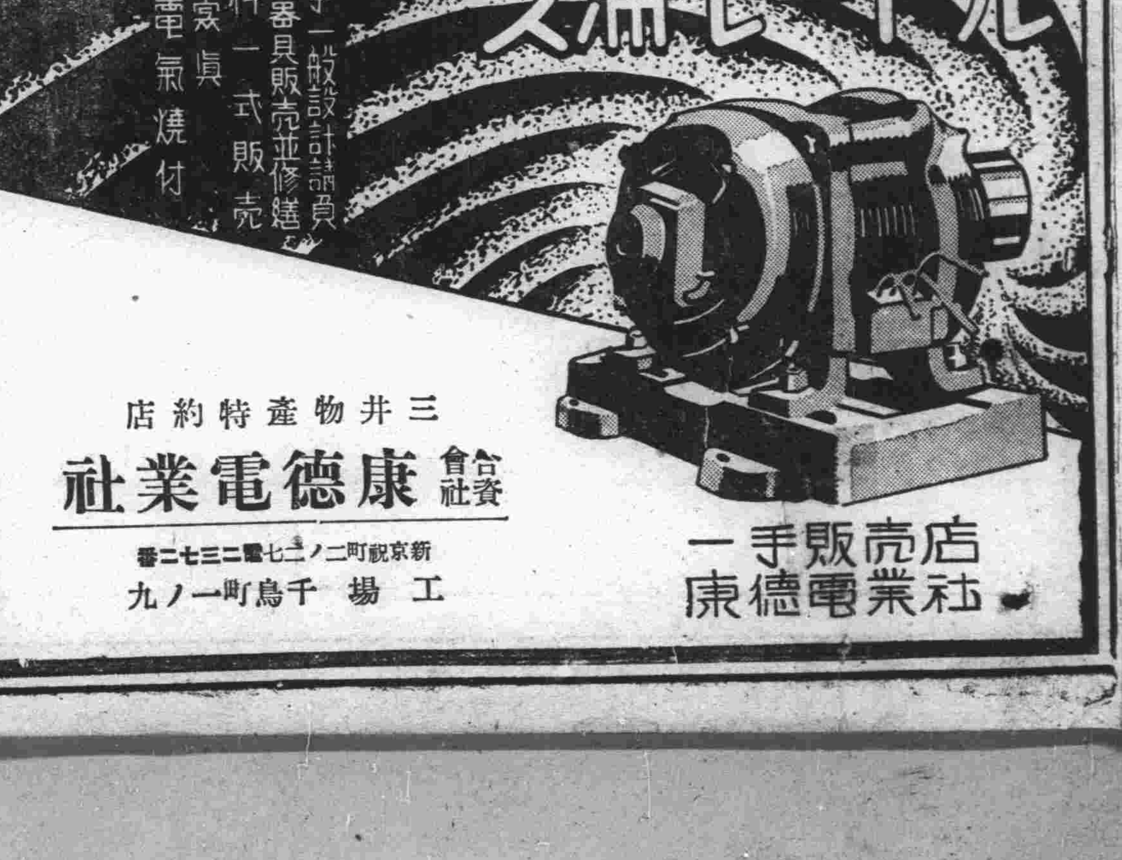
不運不幸惱み煩悶の生活より今直ぐに光明の道へ

適業 結婚 相性 家相 病氣 撰名 命名 百般

所場 新京東一條通寳町小學校前田中ビル二階 高島易斷 鑑定室用 電二五七〇番

◎廣告の御用命は……電話三三〇〇番へ◎

目に青葉 おぼろ月夜にホトヽギス
今宵はしんきはらしに嬉野へ
料亭 嬉野
新京三笠町三ノ七
電話三八三〇番



# 新撰爆笑隊（しんせんばくせうたい）

（上演禁止）　辰野九紫作　永田八浦　關英太朗畫

みるので氣が變なのか、大抵の社員が仕事をいい加減に切上げて、要領よろしき営業状態——わが東京商事の不良仲間にだけ通用する最新流行の民謠、浦和音頭と稱する怪しげな鼻唄ジヤズの齊唱である。

浦和よいとこ
一度はおいで
　ドツコイシヨ
瓜の沼にも、コリヤ
花が咲くよ
　チヨイナ、チヨイナ
花がさくとは
そりや嘘ですよ
　ドツコイシヨ
モガの靴下、コリヤ
穴があくよ
　チヨイナ、チヨイナ

## 現代篇

七一

別れの辛さ（六）

『もう訊かないでよ、あれが大失敗の原因でどうにもならなくなつたの……それで、あんたが浦和の別莊住ひしてるつてもんだから實は今夜轉つてきたのよ。女中部屋にでもおいて貰ふ心算で……』

『まあ、大變……』

『私、人間が正直なのね。ほほほ……それで浦和へ降ると、俥夫に膽坂さんの御別莊へつて、大威張りだつたのよ』

『ほほほ、御免なさい』

『話半分つてことあるけど、これぢや餘り違ひ過ぎやしない？』

『でも、わかつたからいいぢやないの……』

『そりやさう。これでわからず終ひだつたら私、歸る汽車賃も危いわ。あの俥夫の爺さんはぶつぶついひだすし、頑固な原つぱでせう。心細くなつて自分がカチユーシヤみたいな氣がした時、綾さんの聲……確にさうだつたと思つたら、私、トテモ嬉しかつたわ』

明日からどうやつて一人で留守居するか、思ひ煩つてゐた矢先、海に歸つたり叫つたりの押掛居候が舞込んできたものである。

これなら多少寛を安んじて半月自宅をあけて、會社の御用を勤むことも出來ようかと、膽坂の爺さんは更に彼女等を相手に麥酒の杯を擧げて自分でも唄つた。

カチユーシヤ可愛や、
わかれの辛さ
せめて又逢ふ、それまでは、
同じ姿で、
ララ、ゐてたもれ

さて、その膽坂が出張不在中の會社では、もう後一時間でひけるといふ刻限になると、重役は既に一足も二足もお先へサヨナラして

「これだからうつかり出張も出來ない。不在になるとすぐに斯んな唄が流行りだす。」

「まつたくさ、膽坂が默がつた管だ。先生、今頃は別莊籠りで驚をしてるだらう。」

「知らぬは亭主ばかりなり——か。」

「ははは、ひどいことになつたものだ。どうだい、川崎君——彼の細君は神妙に留守番してるかい。」

ロイドの川崎は浦和在瓜澤に小躾の居を構へる通勤組の一員で、朝晩の往復には膽坂傳の御門前を通る人物だから、膽坂夫人の消息に詳しい筈である。

「うむ、瓜澤戰線異状なしだ」

「ほう、そりや感心！よく辛抱してるね。さぞ〳〵お淋しいことだらうに……」

「御神さま……えへ！君は存外、侮辱思想をもつてるんだね」

「いや、僕ぢや鴻聊だよ。他人の女房でも氣になる……」

## ラヂオ　一日（水曜）新京

六、〇〇 ラヂオ體操（滿語）
六、一五 ラヂオ體操（大連）
引續き 入港船の御知らせ（大連）
六、三〇 初等滿語講座（大連）講師 秩父固太郎
七、〇〇 初等日語講座（奉天）講師 近藤寛助
七、二二 朝の音樂（大連）
八、三〇 經濟市況（東京）
九、四〇 經濟市況（大連）
一〇、〇〇 料理獻立（奉天）
一〇、二〇 經濟市況（大連）
一〇、四〇 經濟市況（東京）
一〇、五九 時報（東京）
一一、〇一 經濟市況（東京及大連）
一一、四〇 ニユース（東京）
〇、〇一 經濟市況（大連、引續新京）
〇、三〇 ニユース
〇、四〇 ニユース（滿語）

ラヂオの御用は 東京無線 電四九二〇番

〇、五〇 演藝（レコード）（滿語）
二、〇〇 經濟市況（大連）
二、二〇 成人講座（滿語）近代女子必需之知識（一）新京特別市立城後女子小學校 揚瑞清
二、四〇 日用品値段（滿語）
二、五〇 經濟市況（東京）
三、〇〇 ニユース（東京）
三、三〇 經濟市況（大連、引續新京）
三、五〇 ニユース（鮮語）
四、三〇 ニユース（鮮語）
四、四〇 演藝（鮮語）
四、五〇 ニユース（英語）
五、〇〇 子供の時間（大連）
五、二五 氣象通報、番組豫告
六、〇〇 政府公報（滿語）
六、二〇 ニユース（東京）
六、三〇 國民の時間 觀察日本所感 協和會農安分會評議員 梁濟霖
靖國神社臨時祭奉納演藝會 —九段能樂堂より中繼—
七、二〇 箏曲 竹生島 箏 山室千代子 同 楳泉つたよ 三絃 同 山下登喜代 福田富喜代
七、二〇 講談 越の海勇藏 神田伯龍
七、四五 漫才 戰爭問答 秋山右樂 秋山左樂
八、〇五 長唄 八犬傳（下の卷）唄 杵屋勘次 唄 杵屋壽次 三味線 杵屋勝次 三味線 杵屋正次 三味線 杵屋英次 笛 杵屋房次 小鼓 望月長美津 小鼓 望月初子 小鼓 望月太美濱 大鼓 堅田喜千代 望月せい子
八、三〇 時報、ニユース（東京）
引續き ニユース、ニユース、經濟市況
八、四五 氣象通報、番組豫告（滿語）
九、〇〇 演藝（滿語）鴻雁捎書 大鼓 荷茂 絃子 于林花 鋼胡 遲燕 胡絃 譚松 老生 馮聲 鋼胡 陳 金 聚鼓馬寶 胡琴 寶祥
九、三〇 演藝（滿語）（大連）
一〇、〇〇 北滿の時間（露語）（哈爾濱）

##

金曜 乙丑 先勝 收 婁宿　舊曆三月二十九日

●一白の人 內には穩かなれど外には不信を招き易き日 丙と丁と癸が吉
●二黑の人 姑息手段を採らず飽ぐまで働きに依るべし 甲と乙と巽が吉
●三碧の人 氣分を新たにし奮闘すれば擡頭し來るべし 丁と庚と癸が吉
●四綠の人 自我の念を抑へ人に逆はずば無事なるべし 巽と丙と癸が吉
●五黃の人 遠くとも平坦の道を廻れ急直なれば躓あり 甲と乙と巽が吉
●六白の人 出先きに長居すれば人の口舌に捲き込まる 甲と乙と巽が吉
●七赤の人 從來行き慣める事も圓滿に運び捗どる吉日 乙と庚と辛が吉
●八白の人 內治らざれば外に向つての鋭鋒も鈍るべし 甲と卯と乙が吉
●九紫の人 過大の望みを掛けず只平和を專一とすべし 丙と丁と丑が吉

日日案內　廣告料 三行一回金五十錢 追行一回金三十錢 五行一回金八十錢 十行一回金一圓五十錢 掲載日指定十錢增 料金前金 名在社

募集　邦文タイピスト養成 午前、午後、夜間 朝日通日本タイプライタ會社

金融　國債勸業債券高價買入 恩給 年金 便利金融 新京永樂町三丁目二番地 永樂莊三五號ボシン商會 電六一九三番

公認電話店　既設電話月賦販賣 電話賣買金融 電話用達部 △△△朝日通十七番地△△△ △△△電話長四八二八番△△△

金融 新京三笠町一ノ十四 赤玉カフエー西横入 電四九〇二 新興社

あんま 電五八六七 高橋療院

看板は玉江へ 新京キネマ前 電話六九三七番

洋帳簿 各種製本專門 三笠町三ノ九 三省堂製本所 電話三三三四番

あんま 男女員多數御一報次第至急御伺致します 東二條通り備南渡る左 一陽堂療院 電話五八二九番

靈術指壓綜合治療所 簡單ナ健康法無料傳授 東二條通長崎染布所ウシロ 鍼灸マッサージ治療

あんま倶樂部 御報參上 電話六五九六番

特別廣告　公債株式現物問屋 三泰號 新京日本橋通 電話三八八五番

質 保管確實 流質品安賣 貸出勉強 祝町三丁目七四 博多屋 電六三二六四番

御待合 御同伴御歡迎 天昇 梅ヶ枝町一丁目六 電話四七六一番

大阪商船出帆 門司、神戸（大阪）行 ×印二三等船客設備船 ▲印廣島寄港（午前十時大連出帆）
ばいかる丸 五月一日
うすりい丸 五月三日
亞米利加丸 五月四日
吉林丸 五月五日
扶桑丸 五月七日
×志あとる丸 五月八日
うらる丸 五月九日
はるぴん丸 五月十日
熱河丸 五月十一日
切符發賣所 滿鐵沿線主要各驛及各地ジヤパンツーリストビユーロー
一案內所 船車連絡切符（往復切符は汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ヶ月）大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符は復路運賃二割引通用期間三ケ月）
專屬荷扱所 各地國際運輸會社支店
大阪商船株式會社 大連支店電（二）一一五一番 奉天出張所電四〇八九番 新京出張所電話三一一六番

銅版 凸版 北澤製版所

雨天順延 春季大競馬
四月 二十七日（土） 二十八日（日） 二十九日（祭） 三十日（火）
五月 三日（金） 四日（土） 五日（日） 六日（月）
入場券景品付 金一圓 毎日抽籤
社團法人 大連競馬倶樂部 電話（2）三五二三番

●廣告の御用は電三三〇〇番へ●

國都ホテルと食堂
御宴會 御會食
お家族連れのお食事には二階の食堂へ!!
國都新京 ホテル國都
神社お參拜西公園お散策のお歸りにはお立寄を願ひます
お朝食七時ヨリ お晩食十時マデ
新京中央通（神社南隣）電話代表四一四五番
お献立ハ毎日和洋食夫取換ヘテお調理致シマス
お定食ノお値段其他主ナル品目ハ左記ノ通リデス
洋定食 朝 ¥1.50 晩 ¥2.00
和定食 朝 ¥1.00 晩 ¥1.50
天プラ定食 ¥1.00
親子丼 ¥.80
お子樣弁當 ¥.50
●おすし おそば おしるこ コーヒ
紅茶 サンドウヰッチ 洋菓子 季節の果物
●和洋食共出前出張お調理致シマス●

長春座 電三三二〇・五七六六番
蒲田特作 オールサウンド 左團扇 大日方傳 高杉早苗 主演
下加茂特作 オールサウンド 道中女仁義 高田浩吉 小笠原章二郎 光川京子 主演
蒲田ナンセンス映畫 坊や萬歳 突貫小僧 谷令光 主演

新京キネマ 電話二〇六八番
日活 御亭主改造 谷一軒 佐久間妙子 主演
小鼓兄弟 市川正二郎 山本禮三郎 鈴村京子 主演
オールトーキー 青春音頭 岡讓二 喜代三 東海林太郎 中野かほる ポリドールレコード
廿九日より 春だ！春だ！心は踊る、夢も燃え立つ大地の春を、さあさ行かうよ手に手を組んで若い僕等は朗かに！目ざす希望の丘こえて！

帝都キネマ 電六四〇五・六〇三六番
●再び見られぬ大名畫●
卅日まで日延べ！
ターザンの復讐
廣告の御用は電三三〇〇番

五月上旬發賣
新商標賣出し
御待望の
銘酒 滿洲櫻
酒界の第一線に立つ 芳醇酒！
色・香・味・共に比類なき 高級酒！
最高の原料最高技術になる 保健酒！
全滿到る處に販賣
切に御愛用を乞ふ
奉天 櫻屋酒類株式會社 販賣部
電長四四五〇
電五八三四